

ながasaki

日本赤十字社 長崎原爆病院広報誌

VOL.3

ほっとクロス

H O T C R O S S N A G A S A K I



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

2015
WINTER



特集

皆さまへ新年のご挨拶

地域の皆さまと共に歩み取り組む2015年。

HOT COLUMN

医療コラム | 長崎原爆病院の頭痛診療について

HOT PROJECT

病院の取り組み

HOT SERVICE

日本赤十字社長崎原爆病院
地域連携の会

INFORMATION

ニュース&スケジュール

- 第9回市民公開講座がんフォーラム開催のお知らせ
- 地域連携への認定看護師の取り組み
- チーム医療紹介(放射線療法看護について)

- ほっとごはん(病院食紹介)
- 健康豆知識(睡眠時無呼吸症候群)
- 上田医師の健康レシピ

平野 明喜 院長

長崎原爆病院では昨年10月より地域包括ケア病棟を設置しました。この病棟は一般病棟での治療が一段落した回復期の患者さんの自宅復帰を目指した病棟であり、リハビリや生活復帰支援などを行います。また、在宅で治療を受けられている方や老人施設に入所中の方が一時的に専門的な治療を必要とする状態になったときにも利用できる病棟でもあります。

当院の建物は築32年が過ぎ、やや老朽化が進んでいるため、建て替えを計画しています。現在地での建て替えの予定ですが、工事となった場合も現在同様の平常診療を続けるように努力をいたします。

当院では定期的な講演会活動などを通して近隣診療所の先生方に情報を発信するだけでなく、一般市民の皆様向けにも市民フォーラムなどを開催しています。

これからも地域の皆様の健康の維持と増進に寄与していきたいと考えます。

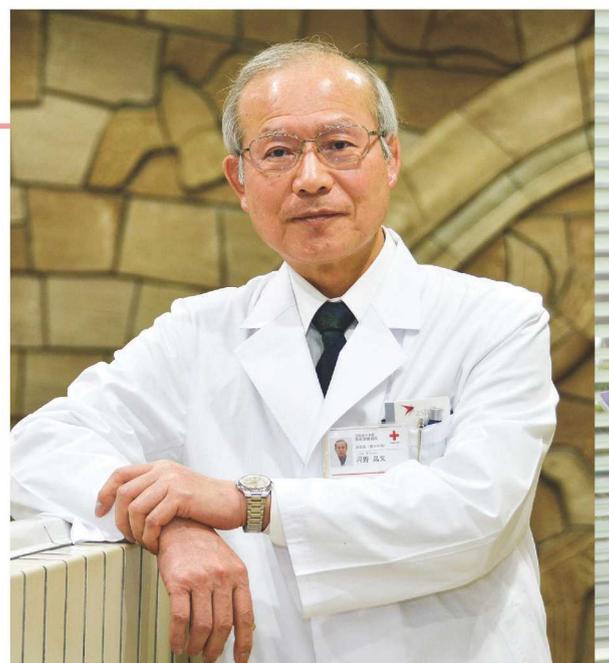


河野 昌文 副院長(兼 整形外科部長)

私は昭和56年から61年まで、また平成3年から今日まで、通算29年間余り整形外科で勤務しています。昭和57年7月23日の長崎大水害も救急当直医として経験しました。その年の12月に片淵から現在の茂里町への引っ越しがありました。

昭和50年代後半の片淵の時にはまだまだ日常生活、日常診療には時間的に余裕がありましたが、現在の茂里町に変わってからは徐々に忙しくなりました。外来も1日900人を超える時期もありましたし、救急日の多忙さは片淵時代とは比較になりません。

現在、新病院建設に向けて着々と進んでいますが、医療を取り巻く環境は今後どのように変わのでしょうか。どう変わっても医療の基本である安心・安全を目指すには、院内では職種を超えて職員間で、また地域の病院・医院との間で、そして患者・家族との間で意思の疎通が必要です。私は今年3月で定年退職です。さらに良い病院になることを祈っています。



上田 康雄 副院長(兼 内分泌・代謝内科部長)

早いもので、小淵さんが「平成」の文字を掲げてから四半世紀もとうに過ぎてしまいました。平成生まれの医師もいます。それだけ自分も齢を重ねた訳です。気がつくと定年まであと二年と少し、今まで何をやってきたのか反省しきりです。

世間では長年続いたデフレ不況から脱却の兆しが見えています(H9年の消費税アップの翌年からは自殺者が年間二万人代から三万人代へほぼ五割も増えていましたが、H24年から二万人代へ減少)。しかし、反対勢力も強力で苦闘が続いているようです。残り二年、晩節を汚さないように、体力の衰えに抵抗しながら私も努力していきたいと思っています。

委員会には多数参加していますが、私の最大の課題は「病診連携」の促進にあると思います。皆様のご協力が必要です。よろしくお願いいたします。

【病診連携】

「病院」と「診療所」で一人の患者さんを診ること。効率的で、かつ医療費削減になるといわれている。



谷口 英樹 副院長(兼 胸部・乳腺・内分泌外科部長)

少し遅くなりましたが、皆様明けましておめでとうございます。

さて、私は副院長としていくつかの分野を担当させていただいておりますが、その中で一番大きな新病院建設についてお話ししたいと思います。ご承知の向きもあろうかと思いますが、当院は新病院建設に向け準備中です。現在は設計がほぼ終わり、各機関に様々な申請を行うと同時に、建設会社の選定に向け情報収集を行っております。東日本大震災、オリンピック招致、消費税増税など建設を取り巻く情勢は必ずしも順風ではありませんが、そこはやる気と情熱で乗り切っていこうと職員一同一丸となって頑張っているところです。

新病院は現在の病院駐車場の位置に15階建てで建設しますが、白い帆船をイメージした外観を予定しています。もちろん医療機器を始め最新の設備を備えた近代的な病院で、地域の皆さまのご期待に沿えるよう頑張っていきたいと思っております。今後ともどうかよろしくご支援ください。



中村 清美 看護部長

皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

2014年4月に看護部長に就任いたしました中村清美と申します。昨年は就任早々、医療の機能分化や地域連携の促進強化に向けた7:1施設基準の厳格化という診療報酬改定の大波にぶつかりました。当院はその影響を受けましたが、急性期医療の提供を目指すという方向性を確認し、『地域包括ケア病棟』の併設を決めました。“いざという時には急性期医療を受けることができ、在宅へ繋がる安心の医療”を実現するための地域包括ケア病棟(39床)として、10月から本稼働となりました。急性期の医療から地域(在宅)医療へ切れ目なく繋げていくためには更なる多職種連携のチーム医療の推進、そして、何より地域の皆様との医療連携・強化が求められて参ります。当院看護部では地域医療連携推進に向け、認定看護師による『地域連携オープン講座』を昨年末にスタートさせました。定期的な勉強会や交流会を企画して行く予定です。情報交換を行い、地域の皆様との繋がりを大事に、一体となって地域の医療・看護の質の向上に努めて参りたいと思っています。

未年の本年も益々元気に、職員一同気持ちを一つにして邁進して参りたいと存じます。今年も宜しくお願ひ申し上げます。



相川 光正 事務部長

新病院建設に向けいよいよ来年度には着工の運びとなりました。思い返せば、本院に3年前に着任後の初仕事が「病院建設委員会」の設置でした。「規程」の整備や超多忙な委員の方々との日程調整に苦労したことや初回の委員会での皆様のお顔や発言内容など、当日の会議の情景が鮮明に残っています。

とりわけ印象深いのが「病院建設補助金」に関する厚生労働省や長崎県、長崎市の方々との丁々発止です。病院建設の理由のほか、被爆者医療や緩和ケア、放射線被ばく災害など、本院の役割や機能について激しい論戦を重ねたことも懐かしい思い出になっています。

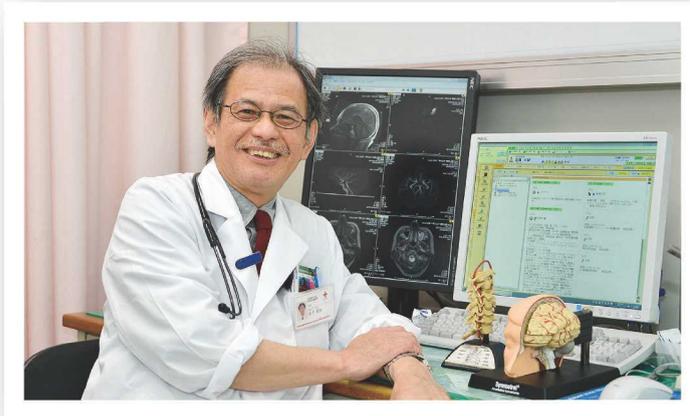
新病院建設には多額の費用と多くの困難を伴いますので、全職員の力を結集しながら着実に前進していくことが求められます。

新病院は30数年ぶりの「ルネサンス」ではないでしょうか。病院が生まれ変わるチャンスでもあります。そして、歴史的出来事に立ち会える職員の皆様は幸せだと思えます。



神経内科

基本的には、ほとんどの「頭痛」を、改善させることが可能!!



片頭痛は長期間
付き合っていかなければ
ならない疾患。

木下 郁夫

神経内科部長

Q なぜ、頭痛診療が重要なのですか？

A 頭痛は一般診療でもよく遭遇する主訴の一つです。なぜ片頭痛診療が大切なのでしょうか。まずは患者数が多いことです。日本人で15歳以上の成人では有病率は8.4%と報告され、特に若い女性に多く、30~40歳代では有病率は20%前後とされています。次に片頭痛は中等度以上の「つらい」頭痛であることが特徴です。その罹病期間は長期に亘って持続し、学業、仕事、家事などの遂行能率を著しく低下させます。3番目は頭痛専門医や興味のある医師が少なく、患者の医療機関への受診率がきわめて低いという問題があります。医療者が患者へ説明を充分しなかったり、患者のニーズをくみ取れていないこともよく見られます。医療機関を受診しない片頭痛患者の多くは市販の鎮痛薬や家族の鎮痛薬を服薬しています。いまだ薬物乱用頭痛、すなわち「薬飲みすぎ頭痛」の認知度は低いのが現状です。

患者数が多い。

日常生活に支障をきたすことが多く、社会的問題を生み出す。

頭痛専門医(頭痛に興味のある医師も含め)が少ない。

患者の求めるニーズに合わない対応で受診なくなり、自己対応(市販薬)している患者が多い。

Q 頭痛外来の開設について教えてください。

A 当院では2011年4月より頭痛外来を開設し、同年5月よりホームページにその旨を掲載しました。ただし、頭痛専門医として私一人でやっているため、週1回の1コマ(火曜日午後)しかできていません。原則、予約外来で10歳前後の小児から成人を対象としています。基本は慢性頭痛の対応で、急性発症の頭痛は救急疾患の可能性があるので別対応にしています。この約3年半のデータを紹介します。503名の新患患者を診察しました。ほとんどは県内の患者ですが離島や県北からも来院しています。性別ではやはり女性が圧倒的に多く、年齢は7歳から90歳台まで幅広く分布していますが30歳台前後にピークが見られます。中学生以下の小児も比較的多く来院しています。診断名はやはり片頭痛が大半を占めます。詳細は省きますが、片頭痛が慢性化したり、薬物乱用頭痛を合併などの難治性頭痛の患者が多い傾向です。基本的にほとんどの頭痛を改善させることが可能です。ただし、片頭痛は長期間付き合っていかなければならない疾患ですので経過中に再び増悪することも認識しておく必要があります。また、脳脊髄液減少症・漏出症も診断、治療を行っています。ぜひ、この頭痛外来を活用して下さい。

2011年5月より 頭痛外来を 開設

毎週火曜日13:30

予約制

頭痛専門医が対応する。

基本的には慢性頭痛に対応。

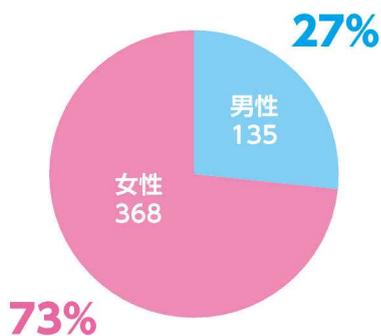
二次性頭痛が疑われる病歴の患者は別個に対応する。

最終的には地元の病院へ紹介する。

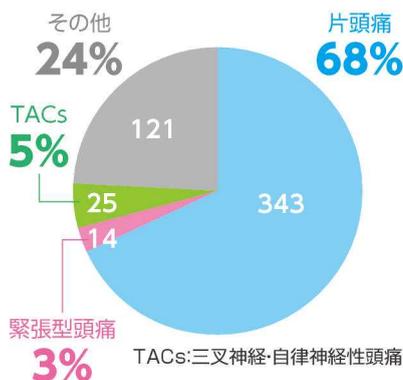
※詳しい情報は「内科外来」までお問い合わせ下さい。

頭痛外来データ

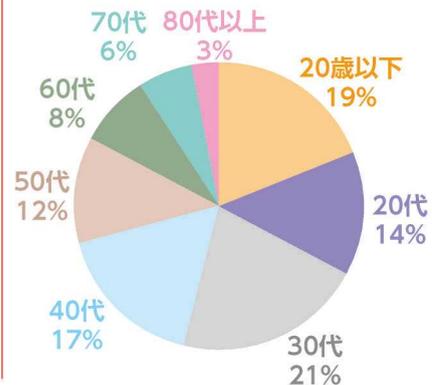
■ 頭痛外来(2011.5~2014.12)
■ 男女比(n=503)



■ 頭痛外来(2011.5~2014.4)
■ 疾患頻度(n=503)



■ 頭痛外来(2011.5~2014.12)
■ 年代別頻度(n=503)



HOT 【ホッと、サービス】
SERVICE +

病診連携室(地域医療連携課)からのお知らせ

日本赤十字社 長崎原爆病院 地域連携の会

当院の診療についての情報を発信するとともに、
地域医療機関の皆様のご意見を賜り、地域全体で患者さんに
良質な医療を提供することを目的とした
日本赤十字社長崎原爆病院 地域連携の会を開催しています。
多くのご参加をお待ちしています。

第1回

平成26年12月10日(水)
副院長 谷口英樹「当院の診療体制について」

第2回

平成27年1月7日(水)
神経内科部長 木下郁夫「当院の頭痛診療について」

第3回

平成27年2月17日(火)
消化器内科部長 鶴田正太郎「C型慢性肝炎の最新治療」
他、症例ディスカッション

対象:地域の診療所等の医療に従事されている方

お問い合わせ先

地域医療連携課 高比良 0120-845-261 までお願いいたします。

日時

平成27年3月14日(土)
13:00~16:10(12:00開場)

プログラム

「がんを乗り越えて」

講師:稲川 淳二 氏

わかりやすい放射線治療の話

講師:放射線治療科部長 林 靖之

ミニコンサート

ソプラノ 松下 知子

ピアノ 森 亜希子

知っておきたい

のどのがんのお話し

講師:耳鼻咽喉科部長 隈上 秀高

展示コーナー

「まちなかラウンジ」活動紹介

「ふれあいサロン(がんサロン)」の紹介

がん関連パンフレット、
5大がん普及啓発パネル

HOT 【ホッと、サービス】
SERVICE



がんフォーラム 第9回市民公開講座 開催のお知らせ

日本赤十字社長崎原爆病院 主催



【主催】日本赤十字社長崎原爆病院

【開催場所】長崎ブリックホール3階 国際会議場

【対象】

一般の方はどなたでも参加可能です。

定員500名(定員を超えた場合は、入場をお断りする場合がございます)

※長崎原爆病院の駐車場をご利用の場合は100円でご利用いただけます。

ただし、会場受付で駐車券の処理が必要です。満車の場合はご容赦下さい。

【お問い合わせ】

日本赤十字社長崎原爆病院 地域がん診療連携拠点病院事務局(情報システム課)

TEL:095-847-1511(代)

【地域連携への認定看護師の取り組み】

地域連携オープン講座 明日から使えるスキルの習得

2025年には高齢者人口がピークに達するといわれ、医療と在宅での医療に重点がおかれた地域包括ケアシステムが構築されました。

住み慣れた地域で自分らしい生活を送りかつ、
質の高い医療を受けていくことが望めます。



当院には、認定看護師会（以下CN会）があります。CN会では、地域連携の足掛かりとして、主に在宅医療を支える訪問看護師の方々を対象に『地域連携オープン講座（以下、講座）』を企画しました。この講座では、受講者が在宅医療に必要な知識や明日から使えるスキルの習得のために「看護師による講義と情報提供」（約1時間）、情報共有と交流を図るための「グループディスカッション」（約1時間）の二部構成にしました。講義は日常生活援助を共に考えたいという思いからテーマを選択しています。今年度は、日頃よく見られ対応に難渋しがちな、感染予防の一つとして「下痢対策」、オムツトラブルの予防に主眼をおいた「皮膚管理」を第1回（2014年12月）に開催し、第2回（2015年1月）には、「口腔ケア」と「糖尿病の方への対応」を開催しました。グループディスカッションは病院ではなかなか知り得ない在宅での患者さんの生活や訪問看護師の方々の実践の様子、認定看護師に確認したいことなど様々な情報を共有する場となりました。五島や壱岐等の離島からの参加もあり、各々約30名が受講され、地域による医療の特色などの情報交換も行われました。

今年度は初めての取り組みであり、受講される方々のニーズの把握や日時の設定など試行錯誤の中での開催でした。改めて地域医療を支える方々との連携の必要性を認識し、今後につなぐ重要性を実感しました。

本講座の広報等に関して、
長崎県看護協会のご協力を
いただきました。感謝申し上げます。



職員へ病院の運営改善の取り組みに関する提案を公募し、下記の提案が寄せられました。

優秀賞

「一泊経過観察入院の業務の簡素化」

重野賢也 内視鏡診療部長

優良賞

「時間外労働の削減」

堀尾謙介 血液内科副部長

①経営の改善に関すること

- ◎健診部門の有効利用
- ◎土曜日の専門、検査外来の新設
- ◎診療科毎の目標設定について
- ◎高額医療機器の稼働時間の延長
- ◎診療科別DPCヒアリング後の検証
- ◎PET/CTの取り組みについて
- ◎医師の適正配置に関する諸問題
- ◎病院経営に対する各医師の意識向上を図る
- ◎病診連携の強化
- ◎その他

②業務の改善に関すること

- ◎委員会の在り方(開催時間)について
- ◎当院における「会議」について
- ◎外来における看護師の配置
- ◎コスト削減に向けて
- ◎患者案内について
- ◎その他

③新病院の建設に関すること

- ◎建設中の安全確保

④病院の運営全般に関すること

- ◎提案書の「定期化」と「結果の可視化」
- ◎通知文書の回覧について
- ◎バス路線について
- ◎その他

チーム医療紹介

【放射線療法看護について】

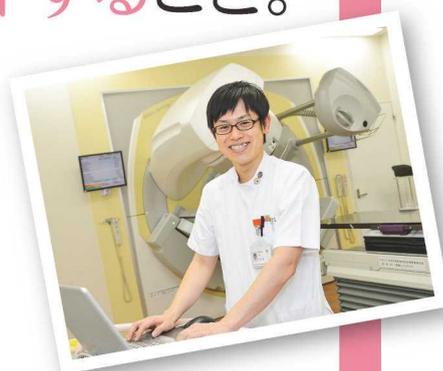
私たちの役割は治療計画を完遂できるように 患者さんやそのご家族をサポートすること。

がん患者数は年々増加しています。がん治療の3本柱は手術、化学療法、放射線治療の3つです。手術や化学療法と比べるとなじみがない放射線治療ですが、画像診断、放射線治療機器の進歩により安全で効果的な放射線照射が可能となっています。私は現在、呼吸器内科病棟に勤務しています。肺がんに対して放射線治療を行っている患者さんも多くいらっしゃいます。がん放射線療法看護認定看護師の役割は、治療計画から予測される有害事象を予測して症状を最小限に抑え、放射線治療医が立案した治療計画を完遂できるように患者さんやそのご家族をサポートすることです。放射線治療の大きなメリットは外来で治療を行えるということです。金銭面や仕事などがんの治療を行う患者さんは多くの悩みを抱えています。患者さんのライフスタイルに応じた、がん治療を選択することが可能です。あなたらしい生活を送りながら治療が行えるよう、まずは主治医に治療法についてご相談ください。

【地域との連携について】

当院では、毎月第2金曜日の17:30～緩和ケア公開カンファレンスを開催しています。現在は、切れ目のない緩和ケアの提供に向けて、在宅の医師や看護師などと症例検討を行い、患者さん・ご家族のからだと心のつらさの緩和にむけ情報や意見交換を行っています。今後、さらに地域との関わりを密に行い、院内外の連携強化、ネットワークづくりを図り、患者さんご家族の生活を支援していきたいと思ひます。

表紙について 写真は、放射線治療のスタッフです。



村田 繁

がん放射線療法看護
認定看護師

村田さんの襟元で
輝く、認定看護師の
資格者だけが
持つピンバッジ



News & Schedule | information

News

長崎原爆病院で開催した行事やイベントをご紹介します。

2014.
10

- 2014年10月6日(月)～9日(木)
情報セキュリティ研修会
- 2014年10月28日(火)
韓国医師受入研修

2014.
11

- 2014年11月7日(金)
医薬品安全管理・医療安全研修会
- 2014年11月18日(火)
追悼式(解剖慰霊祭)



2014.
12

- 2014年12月7日(日)
地域連携オープン講座
- 2014年12月26日(金)
仕事納め式

2015.
01

- 2015年1月5日(月)
仕事始め式
- 2015年1月25日(日)
地域連携オープン講座

2015.
02

- 2015年2月7日(土)
中間管理職員研修会
- 2015年2月12日(木)
近衛日本赤十字社社長来院
- 2015年2月13日(金)
医療安全研修会



Schedule

2015.
03

- 2015年3月14日(土)
がんフォーラム

Pick UP+プラス

2015年
2月12日(木)

近衛日本赤十字社 社長来院

近衛社長がエシュリマン赤
十字国際委員会事業局長



一行とともに来院されました。平野院長からの長崎原爆病院
における被爆者医療や地域医療に関する概要説明後に意見
交換が行なわれ、本院が果たしてきた役割や機能のほか、
今後取り組むべき方向について、認識を深めていただく機会
となりました。

Pick UP+プラス



2014年11月18日(火)
追悼式

平成25年10月1日より平成26年9月30日までの間に、医学の
発展に貢献を頂きました13の御霊をお迎えし、11月18日、追
悼式(解剖慰霊祭)を行わせて頂きました。
病理学並びに医学研究の発展に対しご理解を頂きました皆
様に、改めて感謝を申し上げます。

HOT COOKING ほっとごはん 病院食紹介

長崎原爆病院の食事は、美味しく健康的なメニューが豊富!
ここでは3カ月分の行事食をご紹介します!!

1月
お正月



- ・御飯・塩焼・牛肉ロール
- ・菊花かぶ酢物
- ・二色ゼリー・漬物

2月
節分



- ・煮魚・なます
- ・炒大豆・果物
- ・けんちん汁

3月
ひな祭り



- ・ごはん・焼肉
- ・酢味噌和え・淡雪寒
- ・果物・ひなあられ

健康 ぽっくろす 豆知識

第3回

睡眠時無呼吸症候群について

睡眠時無呼吸症候群は本邦でも患者数200~300万人と推定され、その症状としては大きないびき、夜間覚醒、夜間頻尿、日中の傾眠、全身倦怠感などが挙げられます。睡眠中の低呼吸、無呼吸を繰り返すことで、交感神経活動を活発化させ、心臓突然死、虚血性心疾患、心房細動、心不全などの循環器疾患を発症するリスクが上がる事が報告されています。しかし、早期に診断しCPAP(小型の持続陽圧呼吸補助器)などの治療を早期に開始すれば、睡眠時無呼吸症候群では無い人と同等程度に循環器疾患のリスクを低下させる事ができます。

診断は外来で可能な簡易型検査と、入院して行うポリムノグラフィー(PSG)検査があります。PSG検査は脳波、眼球運動図、筋電図、心電図、パルスオキシメーター、いびきセンサー、気流センサー、体位センサーなどを装着し、睡眠の状態を総合的に判定できる検査であり、保険上も診断には必須の検査です。

当院でも睡眠時無呼吸症候群の精査にPSG検査が原則金曜日入院の1泊入院で可能になりました。症状のある人はもちろん、高血圧のコントロールが悪い人にも一度検査をお勧めします。費用はおおよそ入院費含め3万円程度になります(健康保険3割負担の場合)



上田医師の健康レシピ | Healthy recipe

野菜を食べましょう



野菜の蒸し炒め

食事のとき、はじめに野菜を食べておくと血糖の上昇が抑えられます。糖尿病療養のコツの一つです。そこで、わたしが実践し、かつ患者さんにもお勧めしているのが、「野菜の蒸し炒め」です。大変おいしくて、たくさん食べられます。ビールがすすむのが難点です。



作り方

ポイントは鍋にあります。ピタクラフトなどのアルミとステンレスの多層鍋かホーロー鍋がよいでしょう。調理時間は4分、はじめ3分は強火で残り1分は火をとめて蒸らしです。強火の間は焦げ付かないように20秒に1回ほど蓋をしたまま鍋を振ってください。4分後にエキストラバージンオリーブオイルを好みでかけて終わり。味付けは塩少々、一味唐辛子少々とニンニク、オリーブオイルです。入れる野菜はお好みで選んでください。季節の旬を使うのがよいと思います。

材料

- はじめから入れておくもの
根菜(レンコン、長いも、ゴボウ、サツマイモ、大根、カボチャ)ニンニク、オリーブオイル
- 加熱開始1分から入れるもの
パプリカ、ししとう、おくら、ニガウリ、インゲン、スナップエンドウ、葉物のくき
- 加熱2分から入れるもの
葉物の葉っぱ

※写真の材料は赤黄のパプリカ、インゲン、オクラ、にら、ゴボウ、にんにく、長いもです。オリーブオイルと根菜類はカロリーが高いので取りすぎに注意。できあがり、何もつけなくてもよいですが、お好みでポン酢、黒酢、あるいは粉チーズなどをつけてもおいしい。

編集後記



副院長
上田 康雄
(内分泌・代謝内科)

3月14日、映画「風に立つライオン」が公開される。ロケが行われた本院の情景とエキストラの職員の演技ぶりが楽しみだ。ただ、編集でカットされていないことを祈りつつ。

日本赤十字社 長崎原爆病院

【理念】

赤十字の使命のもとに、地域並びに被爆者の皆様へ良質な医療を提供します

【病院の基本方針】

- ① 高度で良質な医療を目指し診療の専門性を高めます
- ② 被爆者の健康管理と診療の充実に努めます
- ③ がん診療の拠点病院として医療の充実に努めます
- ④ 医療連携を促進し、救急医療をはじめ地域医療に取り組みます
- ⑤ 赤十字及び行政と連携して災害時の医療救護活動を行います
- ⑥ 教育実習病院として医療従事者の教育に努めます

【患者さんの権利】

- ① 個人の尊厳が尊重される権利があります
- ② 良質な医療を公平に受ける権利があります
- ③ 診療・治療に関する説明を受ける権利があります
- ④ 診療・治療行為を選択し決定する権利があります
- ⑤ 個人情報がかまられる権利があります

ぽっくろす

H O T C R O S S N A G A S A K I

“ぽっくろす”とは、ホッと安心したり、ホットな気持ちになったり、みなさまと情報を「クロス」し共有していく季刊発行の院内情報誌です。院内の広報委員のスタッフ皆で毎回ホットな特集を組み、お役に立てる情報を掲載すべく病院各部署のスタッフそれぞれから原稿を集め誌面を制作しています。

各科別外来担当医のお知らせ

平成27年2月1日現在

	診察室		月	火	水	木	金
	内科	新患	101	鶴田	加治屋	木下	芦澤
102			福田正	城	※2 橋口/嶋田	堀尾	北崎
103			※1 中島/岡田	荒木	雨森	安井	※3 上田/法村
104			救急患者対応	救急患者対応	救急患者対応	救急患者対応	救急患者対応
再来		105	芦澤	雨森	芦澤	岡田	堀尾
		106	安井	堀尾	楠本	中島	福島直
		107	城	橋口	岡田	嶋田	鶴田
		108	木下	中島	荒木	北崎	芦澤
		109	橋口	木下	城	福田正	福田正
		110	加治屋	重野	救急患者対応	竹下	雨森
		111	救急患者対応	救急患者対応	救急患者対応	救急患者対応	救急患者対応
		112	法村	法村	上田	上田	安井
		113	専門看護	専門看護	専門看護	専門看護	専門看護
内視鏡	楠本/竹下		鶴田/竹下	加治屋/重野	鶴田/重野	加治屋/楠本	
専門外来	精神科(110診) 三宅:第1、3週 木下裕久:第2、4、5週		緩和ケア 後藤:午前中 リウマチ(105診) 川上:14時~ 頭痛(103診) 木下郁夫:13:30~			リウマチ(112診) 岡田:14時~	
健診センター	診察	松山比		松山比	松山比	松山比	
	透視	小川		小川	小川	小川	
外科	1	柴田健		柴田良	谷口	谷口	
	2	中崎		※4 大学乳腺外科	柴田健	中崎	
	3	森山			※5 松丸	佐野	
整形外科	新患	1	村田		白石	※7 村田	
		2			河野	黒木	
	再来	3	黒木		坂本	坂本	
		4	白石		橋川	河野	
皮膚科	1	鳥山		鳥山	鳥山	鳥山	
	2	本多		本多	本多	本多	
泌尿器科	新患	3 志田		今里	鶴崎	今里	
	再来	2 鶴崎		志田	今里	鶴崎	
婦人科	I 診	鮫島		鮫島	鮫島	鮫島	
	II 診	森崎		森崎	森崎	森崎	
眼科	1			脇山	脇山	脇山	
	2	栗原		栗原	栗原	栗原	
	3	宇野木		宇野木	宇野木	宇野木	
耳鼻咽喉科	1	隈上		隈上	隈上	隈上	
	2	占部		占部	占部	占部	
放射線科		大坪		大坪	大坪	大坪	
		森		森	森	森	
		松山直		松山直	松山直	松山直	

- ※1 月曜日内科 103 診：第 1、3、5 月曜日 / 中島医師・第 2、4 月曜日 / 岡田医師
- ※2 水曜日内科 102 診：第 1、3、5 水曜日 / 橋口医師・第 2、4 水曜日 / 嶋田医師
- ※3 金曜日内科 103 診：上田医師と法村医師が隔週で診察します。
- ※4 乳腺外科外来：第 1、3 火曜日 9:00 ~ 12:00
- ※5 心臓血管外科外来：1、3、5 の水曜日午前中。
- ※6 外科外来の金曜日 3 診の中崎医師の診察は、午前 10 時までです。
- ※7 整形外科の水曜日 1 診、金曜日 1 診の村田医師は再来です。
- ◎ 水曜日の皮膚科 病棟の往診は休み
- ◎ 眼科紹介は水・金曜日午前中のみ

ご案内

診療受付時間 初診/午前8時30分~午前11時00分
再診/午前8時00分~午前11時00分

※再来受付機による受付は午前8時00分より行っています。
※禁煙推進外来を受診希望の方は、1階受付窓口か2階健診センターへご相談ください。

診療開始時間 午前8時45分~

休診日 土、日、祝日、年末年始(12月29日~1月3日)
日本赤十字社創立記念日(5月1日)

※学会出張等により、代診または休診する場合がありますのでご了承下さい。
一部の医師については、随時変更があります。



日本赤十字社 長崎原爆病院

〒852-8511 長崎市茂里町3-15 TEL.095-847-1511
FAX.095-847-8036

http://www.nagasaki-med.jrc.or.jp/ 長崎原爆病院 検索

